

各団体の取組紹介

1 楠地区5学区（味鋤・西味鋤・楠・如意・楠西）の取組み

【楠地区の広域避難に関する取組み】

（楠地区5学区（味鋤・西味鋤・楠・如意・楠西））

時期	取組み
令和3年～令和5年	楠地区5学区の住民が主体となった避難行動計画策定会議において、豊山町への避難に関する課題及びその対策について検討。
令和6年3月28日	名古屋市と豊山町で、広域的な避難者の受入れ及びそれに伴う物資等の提供に関して定めた「災害時における広域的な避難者の受入れ等に関する協定」を締結。
令和6年6月16日	豊山町の富士学習等供用施設への広域避難訓練を実施。
令和7年1月26日	北高校において、豊山町の住民を受入れ、合同で避難所運営訓練を実施。

活動の様子



協定締結式



豊山町での広域避難訓練



北高校での合同訓練

2 防災自助普及委員会の取組み

【市民の防災意識向上の取組み】

（NPO法人防災自助普及委員会）

助けられる人から助ける人へチェンジ!

- ▶ 名古屋市防災広報アンバサダー“そなえ・まい”をプロデュース、子どもから大人まで参加できる防災・減災の啓発活動を行っています。

あなたの防災知識はどのくらいかな?

防災検定

防災検定とは?

防災を担う人材を幅広く育成することを目的とした検定です。近年、自然災害が多発しており、この防災検定を通じて防災を学んでいた、個人の防災力向上を目指すものです。

防災検定の特徴

- ①防災意識の向上や防災知識の理解が深まる
- ②個人々のレベルに合わせ学ぶ事ができる
- ③防災に関する理解度を客観的に評価できる
- ④SDGs（持続的な開発目標）実現の取組みに寄与する

※防災検定や受験開催予定などについては、当協会のホームページをご覧ください。

アンバサダー
そなえ・まい



そなえ・まい制作：名古屋工学院専門学校

こんな方々がメンバーです!

- 防災・減災に興味のある人
- 防災・減災知識を身に付けたい人
- 仲間づくりがしたい人
- やりがいを見つけた人

活動の様子



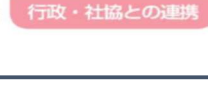
防災・減災講演会



防災検定試験会場



防災検定協力



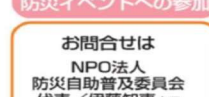
行政・社協との連携



防災・減災の学習



防災イベントへの参加



行政・社協との連携

お問合せは

NPO法人
防災自助普及委員会
代表／伊藤知恵
TEL：080-6927-0024
mail：info@sonaemail.com

能登半島地震
被災地への応援活動



3 中川学区災害対策会議の取組み

【災害対策会議を通じて避難所運営を確立！】

（中川学区災害対策会議）

- 令和3年1月より、学区の防災リーダーを育成することを目的に「災害対策会議」（災害対策委員14名＋各町内14名＋コミセン館長）を立ち上げ、年6回程会議を開催。
- 会議の中で、学区内の避難所となる小・中学校それぞれへ向かう人員の決定、任務内容の確認を行ってきた。また、外部講師を招き講演会を実施
- 会議を通じて定期的な意見交換を行い、地域防災の要となる「共助」の土台づくりを推進

活動の様子

<災害対策会議での外部講師による講演会>



<防災訓練（地下式給水栓開栓）>



4 野跡キッズ団の取組み

【キッズ団活動にて地域の防災力向上に寄与！】

（野跡キッズ団）

- 学区内の小学生を団員として構成された組織であり、令和元年度より地元消防団の協力により発足
- 令和2年度より毎年、野跡小学校で宿泊型訓練を実施し、電気やガスを使用しない食事づくり等を行うほか、日頃より防火・防災の学習や水難訓練等の活動を継続
- 現在の団員数は約30名。地域における次世代の防災の担い手づくりに貢献

活動の様子

<宿泊型訓練>



5 港楽学区防災組織委員会の取組み

【港防会を発足し、避難所運営をブラッシュアップ!】

(港楽学区防災組織委員会)

- ・役員や地域内に限らず幅広くやる気のある人材が集い、令和6年4月に「港楽学区防災組織委員会（通称：港防会）」を発足し、毎月第4火曜日に打合せ会を開催
- ・モットーは「みんなで話し合い、考えること」で、役職や経験を問わず、平常時から地域防災についてアイデアを出し合い、様々な企画を実施
- ・港防会にて避難所を運営する管理組織の選定や学区独自の避難所ルールづくりを検討し、学区防災訓練を通じて実践検証を行い、ブラッシュアップを継続

<港防会>

活動の様子



6 北一社学区連絡協議会の取組み

【防災訓練 毎年実施】 安否確認 2016 避難所運営 2018 より (北一社学区連絡協議会 ①)

- ・2016年より毎年 各自治会にて安否確認訓練を実施
「名東区の見守り支援」とは別の組長情報である第3の情報で要支援者のところを重点的に回っている

・コロナ禍でも継続的に実施

第一の情報 民生委員
第二の情報 名東見守り支援
第三の情報 組長が判断した情報

無事ですプレートが出ていないところは必ずピンボンを押す
出ていない所を重点的に



必ず二人以上で回る

我が家は
無事
です。
北一社学区

大きな災害が発生したら
① まず、自分と家族の安全を確認しましょう。
② 火の始末をしましょう。
③ 電気のブレーカーを落としましょう。
④ 建物の安全を確認しましょう。

安全が確認できたら、直ちにこのプレートを外から見えるところに貼ってください。
(このプレートは災害発生時に貼ってください)

以上3実施後、近隣の支援、救済活動に参加しましょう。→ 現場本部へ

現場本部は

【給水栓改修】 (北一社学区連絡協議会 ③)

小学校 地下式給水栓

マンホールよりの取り出しが不便につき ホースで延長して蛇口を取り付け 誰にでも蛇口が使えるよう改修



いちいちマンホールに頭を突っ込んでバルブ操作が必要
蛇口ノズルをワンタッチ継手に変換 ホースで延長し

費用は学区にて捻出

千種高校は受水槽(24t)を改修して緊急時取り出し弁取り付け



蛇口を3口を2本で計6口を確保これでいつでも老人、子供でも使えるようになりました

2セットで4〜5万円ぐらいなので、他学区より制作依頼が複数ありました

希望があれば制作図面をお分けします。



避難所&災害救助地区本部訓練 (北一社学区連絡協議会 ②) 毎年実施

デジタル簡易無線登録局(3R/3T)を多用し 災害時は携帯電話は使えません (本部員は別途任命し自治会長の負担を軽減)

無線機は学区で97台+個人8台で 計105台 運用
自治会内で最低4台は所有 最大17台の自治会あり

他学区も導入増加中につき
名東区災害共通 CH8 を構築中

災害救助地区本部に 各自治会の現地本部より 被害状況の連絡を受ける

コミセン、小学校、千種高校避難所(自主運営訓練)と無線連絡にて随時情報共有している

すべて学区で運営 区役所員は見学

コミセンには外部アンテナを常設 小学校にもアンテナを常設を希望 (教育委員会の回答は不可だった)



名東区防災研修会での講師 (北一社学区連絡協議会 ④)

1. めいとう総合見守り支援事業研修会にて発表

めいとう見守り支援の情報と第3の情報にて要支援者の見守り事例

対象：新人の自治会長及び民生委員

2024/12/5

名東文化小劇場

2025/8/18

名東区役所 講堂 発表済み

名東区役所 講堂にて 発表

2025/1/24 午前/午後

2025/2/3 午前/午後

出席者 各学区委員長/消防団長/民生委員/防災委員

その後、名東区では防災活動が活発化しました

紙面で伝えきれないので「北一社 防災室」でNet検索してみてください



防災訓練の相談を複数の学区より依頼を受けてます